

## 令和3年度 第2回 東京都教員育成協議会 会議要旨

- 1 日 時 令和3年10月27日(水) 午前10時から午前11時30分まで
- 2 会 場 Teamsによるオンライン会議 本部：都庁第二本庁舎31階特別会議室24
- 3 出席者 増田委員(会長)、藤井委員(副会長)、佐々木委員、増淵委員、吉川委員、後藤委員、桜沢委員、中村委員、並木委員、和田委員、浅野委員、小寺委員

### 4 議事内容

#### (1) 東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標について

- ・ 指標の「基礎形成期」は教職をめざす学生の指導に生かせるものである。「求められる能力や役割」で、「デジタル技術や地域・社会の教育資源の活用」について示されているが、ここに示されていることを基に学生には指導を行っていきたい。
- ・ 指標内表記の「○」と「・」の使い分けが分かりにくいのではないかと。全般を通して分かりやすく整理してほしい。
- ・ 「児童・生徒のSOSを出す力及び周りのSOSに気付ける力を育成することができる」という表記があるが、「周り」とは児童・生徒のことを示すのか。「SOSを出す力」と「SOSに気付ける力」を並記することにより分かりにくくなっている。共に大事な内容であるので、丁寧に表記するようにしてほしい。

#### (2) 「東京都教員研修計画」及び「東京都教職課程学生ハンドブック」次年度版について

- ・ コロナ禍により、集合型の研修ができず、オンラインによる研修が増えた。校内の研修もハイブリッド型や対面型等それぞれの良さを生かしながら研修を進めるよう模索している。都教委から示される「研修計画」は大変良い資料であり、活用しているところである。
- ・ 「研修計画」は教員一人一人が自分で研修計画を立てるために生かされるべきものである。そこで、管理職に1～2部だけ配付されるのではなく、多くの教員に行き渡るよう検討をお願いしたい。
- ・ 都教委から配布される「東京都教職課程学生ハンドブック」を大学で活用している。働き方改革についても触れられているので、教員志望の学生達の教職に対するマイナスイメージを払拭する上でも役立っている。
- ・ 「東京都教職課程学生ハンドブック」について、今後、紙媒体ではなくデータでの配信に切り替えていくということだが、今時の学生達には適していると考えられる。ポータルサイトにリンクを張ってすぐにアクセスできるようにしたり、二次元コードで必要な情報をすぐに検索できるようにしたりするとよい。電子化することにより利便性の向上を図ってほしい。